

Rainger FX



BLEEP

取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Rainger FX BLEEP

BLEEPをご購入いただきありがとうございます！BLEEPはフルコントロールが可能なハーモナイズオーバートーン、サーキッドバンドのようなエフェクトやモジュレーション、そしてノイズゲートを搭載し驚くほど多彩なサウンドを楽しめます。ファズ回路はDr Freakenstein Chop Fuzzから受け継がれ、巨大で切り裂くようなドライブを出力します。更に貴方が望むならBLEEPの悪夢へ突入も可能です！

CONTROLS

OVERTONE: ファズにブレンドされるハーモナイズオーバートーンのピッチを設定します。

VOL: ペダルのボリュームを設定します。

BLEEP/FUZZ : 内部のチップをスターヴさせ、ファズサウンドをBLEEPへ変化させます。右に回し切るとファズのみ、左へ回していくとBLEEPサウンドへ変化していきます。ノブの設定によりBLEEPサウンドの質感、フィーリング、速さが変化するので、様々な設定を試してみてください。

MOD : LFOを有効にし、overtoneがモジュレーションします。

RATE : overtoneノブの操作をピッチ設定からモジュレーションレートの設定へ切り替えます。

on/off フットスイッチ : BLEEPのオンオフを切り替えるフットスイッチです（トゥルーバイパス）。オンにすると、LEDが一点灯します。



Igor : 感圧式パッドを搭載したユニークなコントローラーです。ペダル上部のジャックへ接続すると、overtone ノブを Igor で操作できます。Igor を使用しているときは overtone ノブは Igor のコントロール幅の設定として機能します。

Igor はどちらの面を表にするかで、2つの感度を設定できます。Igor のロゴがある硬い面を上にするると、操作に強い入力が必要になります。床に置いて足で操作するのに最適です。黒いパッドを上にするると感度が高くなり手での操作が可能になります。



NOTE

- ・ RATE ボタンは MOD ボタンがオンになっていないと有効になりません。
- ・ BLEEP にはノイズゲートが搭載されており、エクストリームな設定でも楽器の入力が無くなれば完全に無音になります。ノイズゲートはギター側のボリュームを絞ることで調整ができ、bleep 本体で調整はできません。ボリュームを絞るとノイズゲートのスレッシュホールドが上がり、サスティンが短くなります。Rainger FX が考えるベストなサウンドはフルボリューム時なので、まずギターのボリュームはマックスでお試し下さい。
- ・ ファズのゲインは固定です。
- ・ bleep で通常のエクスプレッションペダルの使用は想定されていませんが、恐らく可能です。その場合はミニジャックへの変換が必要です。
- ・ Igor コントローラーを他のペダルでエクスプレッションペダルのように使用することも可能です。その際はジャックの変換が必要です。
- ・ スタンダードな 9V センターマイナスの電源アダプターで動作します。電池は使用できません。